

2023 年度

法 人 事 業 計 画 書 (案)

社会福祉法人 からし種の会

## 1. 法人の基本理念

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安心して安全の快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

## 2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者・家族にとって、安全、安心、自分らしさのある快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉とのよい連携
- 4 地域の家づくりと共生
- 5 持続可能な財政基盤の確立

## 3 からし種の会が経営している各事業の安定化と質の向上

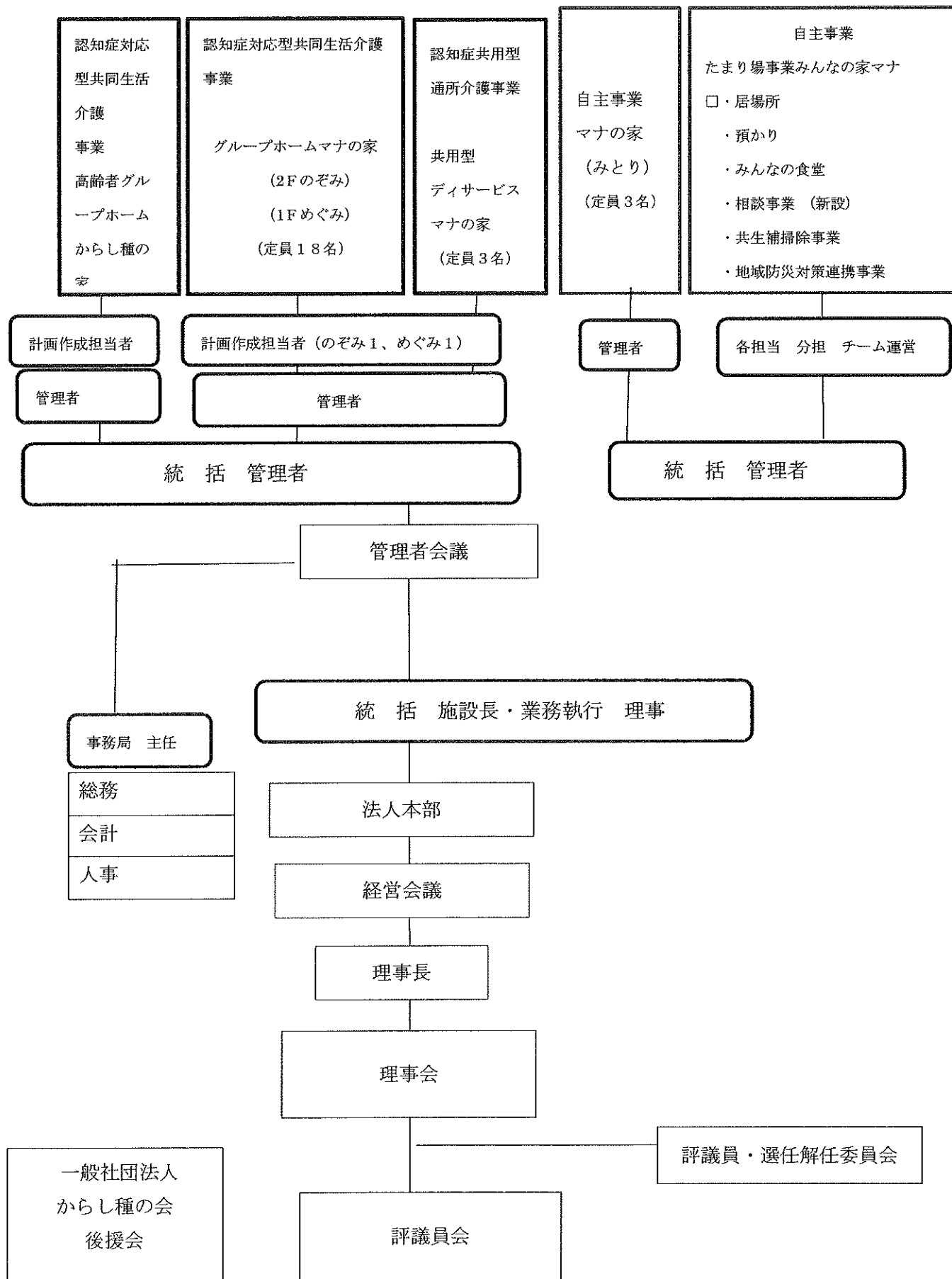
からし種の会	指定事業所番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホームからし種の家	9
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホームマナの家	18
			(2018.4.5 増床 開設)	
1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型ディサービスマナの家	3	
公益事業		法人の独自事業・自主事業 1. 看取りの家  2. 地域公益事業	○マナの家	3
			○たまり場みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00~15:00 活動検討 ○預かり（上記開催時間内2名まで） 活動検討 ○みんなの食堂 第4月曜日 月1回 お弁当配布 ○共生お掃除事業 毎週水曜日 9:30-11:30 就労支援事業所・気まま舎との連携 ○要支援者等による防災対策事業 活動検討	コ ロ ナ の た め 活 動 中 止 も あ り

4 組織図

2023年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表

社会福祉事業

公益事業



## 5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	4名

※重点目標：法人ミッション・社会福祉充実計画とその社会福祉充実事業の一体化構想の構築へ

## 6. 評議員会、理事会開催計画

評議員会	第 1 回	2023 年 6 月下旬	2022 年度 会計決算報告、 2023 年度 社会福祉充実計画、定款変更、その他
	第 回	2023 年 月 日	定款変更等 その他

理事会	第 1 回	2023 年 6 月 中旬	2022 年度事業報告書、2022 年度会計決算報告、定時評議員会招集等
	第 2 回	2023 年 12 月 中旬	資金収支補正予算、定款変更 その他
	第 3 回	2024 年 3 月 下旬	2024 年度 事業計画並びに資金収支予算、その他

※その他、必要に応じて適時開催

## 7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	2023 年 3 月末		2023 年 3 月末		備考
	当初借入額	償還済額	当期償還額	借入残額	
福祉医療機構	63,200,000 円	43,146,000 円	3,492,000 円	20,054,000 円	既存マナの家
	85,000,000 円	18,962,000 円	4,452,000 円	66,038,000 円	増床マナの家
計	148,200,000 円	62,108,000 円	7,944,000 円	86,092,000 円	

## 8. 利用者目標 計画

事業所名	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度見込	2023 年度目標
からし種の家	95.40%	97.95%	93.23%	97.00%
マナの家	100.39%	98.44%	93.92%	97.00%
共用型サービス	69.38%	72.05%	65.58%	75.00%
公益事業 (マナの家)	99.43%	107.52%	102.31%	75.00%

## 社会福祉法人からし種の会 2023年度 法人 事業計画書

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

### I 法人事業計画

#### 1. 2023年度 事業計画基本方針（重点課題）

- (1) より専門職としてのスキルアップを図るために、次世代を担うマンパワー育成等に取り組む
- (2) 認知症の人の「自分らしさの快適な生活づくり」を意識して学びなおし、実践する取り組み
- (3) 財務基盤の強化へ向けた取り組み
- (4) 最終年度の社会福祉充実計画に基づく事業実施と連動する地域福祉実践の取り組み

#### 2. 重点課題への取り組み

- (1) より専門職としてのスキルアップを図るために、次世代を担うマンパワー育成等に取り組む
  - ① 中間層者職員たちを対象とした次期リーダー、管理者研修プログラム育成研修に取り組む
  - ② 職場での人間関係の悩みやハラスメント等に対し相談窓口を整備し、職場環境を整備していく
  - ③ 2年目の2023年人事評価と実施していく。
- (2) 認知症の人の「自分らしさの快適な生活づくり」を意識して学びなおし、実践する取り組み
  - ① 認知症の人の意思決定支援など、全職員たちが意識して学び合う研修環境を整備していく。
  - ② コロナ感染防止等の対策を取りながら、利用者の買い物や外出の機会を応援する「おでかけGO」の社会資源の創出に取り組む
  - ③ 県内外のグループホームとの交流や職員間の研修などをオンライン等にて取り組んでいく。
- (3) 財務基盤の強化へ向けた取り組み
  - ① 組織の変更により管理体制を整え、職員一人ひとりの個性を活かした職場づくりに取り組む。
  - ② 法人全体の経営状況の改善を図る。
  - ③ 利用者の健康管理に努め継続支援を行うとともに、入退居時の空室期間の短縮化を図る。
  - ④ 税理士法人さくら総合会計による巡回指導と経営会議の連動による経営管理を強化する。
- (4) 最終年度の社会福祉充実計画に基づく事業実施と連動する地域福祉実践の取り組み
  - ① 最終年度としての社会充実計画を管理、展開していく。
  - ② 2024年度以降による地域公益事業の位置づけを可視化していく。
  - ③ なんでも相談を「マナのなんでも相談」とし、相談事業を強化していく。

## 2023年度 法人新規事業計画（案）

事業名	次世代を担うマンパワー育成事業
事業目的	中間層の職員を対象とし次期リーダー、管理者育成研修プログラムを新設し、次のキャリアアップに進める目標づくりとマンパワー育成の体制を整備する。
事業内容	① 次期リーダー育成研修、管理者育成研修プログラムの事業設計に取り組む。 ② 上記の実現化のために専門家の協力を得て、新事業の基盤づくりを行う。 ③ 受講対象者の条件整備や全職員への周知方法を吟味して年度内に実施する。

事業名	働きがいのある職場環境・ハラスメント防止事業
事業目的	介護現場などの職場環境において、人間関係のトラブルや悩み、ハラスメント防止にむけた職場の配置や業務の見直し等による職場環境の改善化を図る。
事業内容	① ハラスメント防止規程を新設する。 ② ハラスメント相談員を1名配置し、専用ダイヤルを新設する。 ③ ハラスメント調査委員会を新設し、発生した事案等に適正に対処する。 ④ 全職員の周知の徹底及び研修の実施し、働きがいのある職場づくりに努める

事業名	空室の短縮化と職員の人材確保のための補佐体制事業
事業目的	利用者の入退居による空室の短縮化を目指すとともに、職員の採用に関する業務を補佐する専従の職員を配置し、担当職員と連携し受入れ体制の改善を図る。
事業内容	① 入居に関する補佐業務・採用に関する補佐業務に専従する職員を配置する。 ② 補佐業務を見える化し、管理者や人事担当者らを補佐するとともに、2023年度の利用率やスムーズな人材確保に結び付ける。

事業名	各ホームの利用者間のお仲間づくり、おでかけGO支援事業
事業目的	福祉車両の購入に伴い、各ホーム間を巡回する「おでかけGO」の外出を支援し仲間づくりの場を創出していく。
事業内容	① 7人乗りの福祉車両の有効活用の一つの方法として、各ホーム間を巡回するおでかけGOを月1回の試行運転から始め、外出の機会を創出していく。 ② そのための体制を構築しながら、職員間への周知、理解のもと実施する ③ 全事業の利用者を対象とし、職員間の連携を図りながら外出を支援する。

## 2023年度 法人事務局事業計画(案)

## &lt;法人事務局 具体策&gt;

- ①事務局としての業務内容を理解し、より専門性を高める。
- ②事務局内での連携をはかり、各業務が適切かつ迅速に行われるように努める。
- ③事務職内での定期ミーティングにより、業務予定や計画、他社への連絡等を確認し合う。
- ④日々、行政機関等からのメールを確認し、各事業の管理者へ連絡すると共に必要書類を作成し提出する。
- ⑤研修等の案内があった場合、各事業の管理者及び受講者へ通知する。
- ⑥事務局業務が日々増えていることから、書類の作成提出に関し、より迅速かつ効率化を図る為、電子申請化を考えていく。
- ⑦書類の整理・保存に関し、毎年度の書類の保存量が多く、保存場所の確保が難しくなっていることから、電子帳簿での保存も含め、考えていく。

## &lt;総務&gt;

- ①理事会及び評議員会等が円滑に行われるように役員と連絡、相談を重ねる。
- ②ワーク社労士事務所との顧問契約により、労務に関し職員が働きやすい労働条件になるよう諸規程等について協議する。
- ③助成金等の申請がある場合、社会保険労務士と相談を重ね、適正な書類作成と申請に努める。
- ④人事評価制度については、人事評価規程に基づき全職員に実施していく。

## &lt;会計&gt;

- ①法人内での会計処理について、複数の職員でのダブルチェックを行い、仕訳入力の内容金額等の確認や補助簿との残高確認を行う。
- ②さくら総合会計の巡回監査により、会計の適正化を図る。
- ③さくら総合会計との経営会議を隔月ごとに開催し、経営状況を確認し合い、年度末の収支見込や社会福祉充実計画の運用について、協議していく。

## &lt;人 事&gt;

- ①新人職員の採用にあたり、各事業の管理者と連携し育成指導していく。
- ②職員の求人について、求人サイトや専門業者主催の企業説明会等に参加し、採用につながるように努める。

## &lt;その他&gt;

- ①法人のネット通信について、専門業者による保守契約により、ネット環境を整備する。
- ②共有フォルダー等についても事業内容や用途別に分け、より機能的にし、同時にセキュリティも強化していく。



## 高齢者グループホームからし種の家 2023年度事業計画（案）

## 基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

## 基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

## 重点目標

- 1、入居されている方それぞれの生き方や価値観を尊重し、入居者のご家族を含め職員それぞれがお互いに認め合う。入居者の方同士の関係性を守っていく。
- 2、コロナ禍での具体的な外出支援実施への取り組み
- 3、食べることを楽しんでいただく取り組み
- 4、委員会活動の機能的な実施
- 5、利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

## 行動計画

## 1 &lt;具体策&gt;

- ・日々のホームでの暮らしの中で入居者間での不満や心配の声聴かれる。その都度席替え（状況によってはリビング全体の模様替え）を行うなど環境を変えることで対応していく。そのため各職員は入居者の「声」や表情を日頃から注意深く見守り変化に気づいていく必要がある。職員間で共有できるよう職員会議や日々の申し送りを今まで以上に丁寧におこなっていく。
- ・居室内の整理について、ご本人が大切にされていた物（ご家族の写真等）をご本人が管理できず紛失されてしまうことのないよう支援する。室内清掃時に確認し必要時職員でお預かり、またはご家族にお渡しするなどご本人の大切な思い出をお守りする。室内清掃のやり方を職員会議で再検討していく。

## 2 &lt;具体策&gt;

- ・気候に合わせてホーム周辺の散歩の機会を作る。日中帯の買い物やイベントごと

がない日を目安に積極的に誘いし気分転換していただく。お誘いする組み合わせやホーム待機の職員配置等事前に打ち合わせ危険がないよう安全に支援する。

(職員会議や日々の申し送りを通して職員の共通認識とする)

- ・花見や海岸沿いの車でのドライブの実施。外出計画を作成し職員体制を整え実施していく。また、人混みを避けマスク、手袋の着用など感染予防の徹底を外出計画に含めていく。
- ・ホーム内で過ごされること多く筋力、体力の低下予想されるため、安定して歩行されていた方でも注意深く見守りし安全に外出を楽しんでいただく。

### 3 <具体策>

- ・季節にあった食材を用意しホームの中で過ごされることも多くても「食」を通して季節を感じていただく。
- ・ホットプレートをリビングに用意しホットケーキやたこ焼き等を作る過程を入居者、職員で共に楽しむ機会を増やしていく。安全に配慮し職員体制調節が必要のため事前に計画書作成のもと検討していく。
- ・買い物前に食べたい物の希望や調理方法を入居者の方々に相談し、入居者様の希望を反映させた食事を提供していく。

### 4 <具体策>

- ・マナの家職員と共にリスクマネジメント、身体拘束、虐待防止の各委員会活動の実施。研修を通して全職員の共通認識とし知識を深め日々のケアに活かしていく。

## 5. <具体策>

### 利用者目標 計画

事業所名	2020年度実績	2021年度実績	2022年度見込	2023年度目標
からし種の家	95.40%	97.95%	93.23%	97.00%

## 2023年度年間行事計画

1 - 1 1

高齢者グループホームからし種の家

	内容
4月	お花見(桜)
5月	ドライブ
6月	初夏のお楽しみ会
7月	防災・避難訓練(消防署・地域の方々の参加による)
8月	スイカ割り大会
9月	敬老の日お祝い(ホットプレートを用い一緒に作り食べる楽しみ)
10月	秋のスポーツ大会(玉入れ、輪投げ等)
11月	福祉バザー
12月	年忘れお楽しみ会、ゆず湯、大掃除、クリスマス会
1月	お正月
2月	節分、避難訓練(ホーム内)
3月	ひなまつり

\* 誕生会は当日に実施

## グループホームマナの家 2023年度事業計画（案）

## 基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

## 活動方針

1. その人の持てる力を発揮して頂く。
2. 地域と関わりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

## 重点目標

1. 利用者の思いや意向が尊重された暮らしをつくる。
2. 感染症対策の強化、業務継続に向けた取り組みの強化。
3. ご利用者地域とを結ぶ支援。
4. 委員会活動や研修を通じて職員個々のキャリアアップを図る。  
(職員が育つ仕組み作り)
5. マナの家、からし種の家、公益での情報共有と協力体制を築く。
6. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

## 行動計画

1. 利用者の思いや意向が尊重された暮らしをつくる

## &lt;具体策&gt;

- ①利用者の言葉や行動、表情などを記録に残し、申し送りやカンファレンスで利用者個々の思いや意向を職員間で情報共有し暮らし方やケアに活かす。
- ②アンケートの実施でじっくりと利用者の意向を伺う機会を作り、出された意見をサービスの質の向上につなげる。
- ③日々の暮らし方のほか、行事や外出計画に利用者の希望を反映させる。

2. 業務継続（感染症、災害発生時）に向けた取り組みの強化

## &lt;具体策&gt;

- ① 感染症対策委員会を設置し、指針の整備、研修の実施、シミュレーションの実施を行う。
- ② 「災害時」「感染症発生時」それぞれのBCPの策定と研修による周知。

### 3. ご利用者と地域を結ぶ支援

#### <具体策>

- ① 運営推進会議で利用者の暮らしや意見を発信し、委員の方から地域の情報を頂き、地域資源を利用者の生活につなげる。
- ② コロナ感染症の状況を踏まえながら、地域との安全な交流（オンライン、屋外等）を支援する。
- ③ 有明地区合同作品展への出品やみんなの食堂のお弁当パッケージづくりなどで、間接的ではあるが利用者や地域がつながる方法を増やしていく。
- ④ 感染症対策を行いながら散歩やドライブなどの外出支援を行う。また法人施設間の行き来で交流を楽しむ。

### 4. 委員会活動や研修を通じて職員個々のキャリアアップを図る

（職員が育つ仕組み作り）

#### <具体策>

- ① 各種委員会の活動を通じて職員個々の力を発揮する。
- ② 年間の研修計画のほか、職員の希望する研修の参加で介護に必要な知識や技術の向上を図る。

### 5. マナの家、からし種の家、公益での情報共有と協力体制を築く。

#### <具体策>

- ① 委員会活動を合同で行い、法人全体の取り組みにつなげる。
- ② 合同での研修を通じて、互いの考え方や価値観に学び合う。
- ③ 情報共有を積極的に行い、協力体制を築いていく。

### 6. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

#### <具体策>

#### 利用者目標 計画

事業所名	2020年度実績	2021年度実績	2022年度見込	2023年度目標
マナの家	100.39%	98.44%	93.92%	97.00%

## 2023 年度 年間行事 (案)

	行事内容	担当
4月	お花見 (桜以外も) イースター	
5月	子供たちと交流会 (コロナの状況に合わせて) 創作教室 (プレート作り)	
6月	6/16 和菓子の日 外食	
7月	土用の丑の日 七夕まつり 風鈴作り	
8月	花火大会 スイカ割り 夏祭り (ヨーヨー、的あて等)	
9月	敬老会 月見 外出レク (マリソピア、ぶどう狩り等)	
10月	ハロウィン 紅葉狩り	
11月	からし種バザー お茶会 紅葉狩り	
12月	クリスマス会	
1月	お正月新年会 (絵馬、書初め、カルタ、福笑い等)	
2月	節分の豆まき バレンタインデー (チョコ作り)	
3月	ひな祭り (桜餅づくり) イースター	

○ご利用者個々の希望を叶える (外出、食事、楽しみごとなど)

○塗り絵以外の作品作り (職員がパーツを作り自由に貼り付けるなど)

## 共用型デイサービスマナの家 2023年度事業計画（案）

### 基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

### 活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

### 重点目標

1. 共用型デイサービスとしてグループホームご利用者との交流や行事の実施により通うことへの楽しみを増やす。
2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を強化、ケアプランに沿った支援をチームで行う。
3. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

### 行動計画

1. 共用型デイサービスとしてグループホームご利用者との交流や行事の実施により通うことへの楽しみを増やす。

#### <具体策>

- ・季節のイベントや誕生日、おやつ作りなど利用日に合わせて参加できるよう行事計画をたて、実施する。個々の心身の状況や希望に合わせて参加方法や行事内容を工夫して計画を立てる。
- ・グループホームご利用者と共にできる活動を各職員が用意、場面づくりができるようになる。（歌を歌う、体操、季節の制作、ゲームやクイズなど興味の持てる活動を考え、言葉かけや実施方法等一緒に参加できるよう工夫する）

2. ご家族や担当ケアマネジャー、他の事業所との連携を意識し、ケアプランに沿った支援をチームで行う。

#### <具体策>

・全職員がニーズや支援内容を把握する（情報の確認）。連絡帳に行っていたこと、様子、心身の変化への気づきを意識して記載する。（詳細な情報提供）。日常の記録を元に月一回の担当ケアマネージャーへのモニタリングの作成を行う。支援内容の変更が必要な場合などもあるため、日頃から心身の状態の変化に気づけるよう視点を持つ。

・ご家族、ケアマネージャー、他の事業所からの連絡事項は記録（ケアマネ連絡票）に残し、職員への周知（業務日誌記載、申し送り）を行う。

### 3. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

<具体策>

利用者目標 計画

事業所名	2020年度実績	2021年度実績	2022年度見込	2023年度目標
共用型デイサービス	69.38%	72.05%	65.58%	75.00%



## 地域福祉事業 マナの家・みんなの家マナ 2023 年度事業計画（案）

### 基本理念

- ・親子が地域で安心して子育て、子育てができる。
- ・障害があっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
- ・地域で支えあえ、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
- ・赤ちゃんからお年寄りまで、安心して預かることができる。

### 重点目標

1. 自主事業の発展と拡大のため、総合的に管理運営できる組織編成を行う。
2. 公共事業としての各事業の連携、スタッフ間の情報の共有化を図る。
3. 新型コロナウイルス等の感染防止対策の徹底化を図る。
4. 感染予防の相違工夫により、地域住民との新たな出会いとつながりの継続性に取り組む。
5. 利用者の入退居による空室の短縮化をめざす

### 1. マナの家(みとり支援)

- ① その人らしく最後まで暮らすことができるよう、本人、家族の思いをしっかりと受け止めることに努める。
- ② 新型コロナウイルスの感染防止策の徹底を図りながら、戸外への散歩やドライブなどの外出を試みるなど、活動の場を広げていく。
- ③ 看取り介護の充実を図るため、地域医療並びに介護関係機関との情報交換を密にしながらい信頼関係を築き、本人・ご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えられるように支援する。
- ④ 定期的(2か月に1回)及び入居者に変化があった時にスタッフ会議を開催し、入居者の状態に合った安心、安全な介護が、職員全員がタイムリーにできるように努める。
- ⑤ 稼働率100%に近づけることを目標に、自主事業としての健全な経営を目指す。

### ⑥ 利用者目標 計画

事業所名	2020 年度実績	2021 年度実績	2022 年度見込	2023 年度目標
公益事業 (マナの家)	99.43%	107.52%	102.31%	75.00%

## 2023年度 たまり場・みんなの食堂年間計画（案）

月	たまり場（月曜）	みんなの食堂	イベント等
4	未定	24 夕食	
5		22 夕食	
6		26 夕食	
7		24 夕食	
8		28 夕食	メニューコンテスト (6月周知)
9		25 夕食	
10		23 夕食	
11			3合同バザー・販売
12		18 夕食（クリスマス食堂）	クリスマスプレゼント
1		22 夕食	
2		26 夕食	
3		25 夕食	

※コロナウイルス感染状況により変更有

みんなの食堂開催 計 11 回（夕食弁当配布）
----------------------------

・JA 共済連食材提供西区配布当番担当（1年間）※新潟市社会福祉協議会より依頼あり

場所：いっぺこーと、月1回

・子ども食堂ネットワーク、情報交換会等随時参加

・メニューコンテストはお弁当のメニューレシピ募集し、優秀者1名のメニューを実際にお弁当にする。（図書カードなどのお礼あり）